

教師が「明るい雰囲気クラスだ」と感じていても、友達とうまく関係を築けないという悩みをもつ子や、友達のわがままに疲れてしまっている子いるかもしれません。クラスが「明るい」「何もない」と安心するのではなく、人間関係づくりやルールづくりを意図的・積極的に行うことが大切です。

## ポイント① 児童生徒同士がつながる活動を意図的に仕組む



- ① 人間関係づくりを意図した交流活動をする
  - ・特に、4月にクラス替えや担任発表があり、新しいクラスへの期待とともに人間関係への不安も膨らむ春の間に意図的に設定する。
- ② 様々な場面で取り入れる
  - ・隣の席の友達と自己紹介し合う
  - ・国語の時間に感想を交流し合う
  - ・英語の時間に音読を発表し合う
  - ・グループで課題に取り組む
  - ・学級全体で大縄跳びに挑戦する
  - ・学年全体で30人31脚に挑戦する など

※学習の初めなどの短い時間でも取り組みます。



### ★「質問し合える関係」

「今のこと、もう少し詳しく教えて。」  
ペアやグループにしたとき、このような会話が聞かれることがあります。関係性が向上すると、**自然に**質問し合えたり意見を交わせたりと、学びの質も向上していきます。

## ポイント② 自己決定と達成の経験を積み重ねる



- ① 学級活動(2)において個人目標を自己決定し達成した経験を積み重ねる
  - ・「自分も結構頑張れるなあ。」「友達もよく頑張ったなあ。」と思えるようになり、『互いの努力を認める態度』が育つ。
- ② 個人目標は具体的に立てる
  - ・今の自分があと少し努力したら達成できそうな具体的な目標を立てる。
- ③ 授業でも自己決定の場面を意図的に入れる
  - ・目標をもつことで学びが主体的になる。

※友達が自分の弱さに打ち勝とうと『努力する姿』は尊いものです。**努力を認め合う空気、ルールづくりの基盤**となります。

⇒「学級活動(1)、学級活動(2)」については、**学習指導要領解説特別活動編**を参照

子どもが『自立』していく過程において、教師の助言は重要な意味をもちます。「よい目標を立てたね。」「あなたならもう少し頑張れそうだよ。」困難に打ち勝つ強い心を育むために、適切な助言を与え、見守る姿勢をもちたいものです。

### ★「家庭と学校で子どもを育む」

懇談会や連絡ノート・生活ノートで保護者と目標を確認したり、情報交換したりしながら、できたことや頑張っていることを称賛し合うことが大切です。



### ポイント③

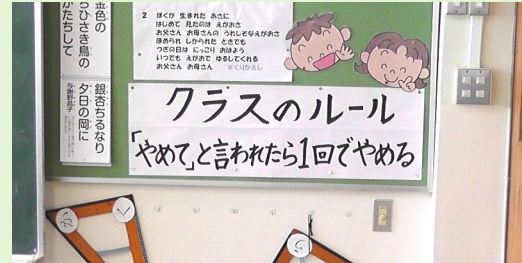
## 学級生活のルールをみんなでつくり上げる

#### 確認

- ①課題を具体的に提示し、解決方法を話し合う
  - ・学級活動で学級のルールなどを話し合う。
  - ・グラフや数字などを活用して、課題を効果的に提示する。
- ②みんなで決めたルールは必ず取り組み、振り返りを丁寧に行う

※ルールづくりと実践を繰り返すことで、『学校生活は自分たちでつくる』という意識が育ち、個々の規範意識も向上します。

課題に直面したときに、みんなで力を合わせて乗り越えた経験は、大きな力となります。本音が出し合える学級づくりに努めましょう。



### ポイント④

## ルールを大切にする

#### 確認

- ①場面を意図的に切り替える
  - ・授業には一体感が大切。つぶやいてよいとき、集中して聞くととき、しっかりと声を出すときなど、教師は意図して、その場面を切り替える（けじめを大切にする）。
- ②学習のルールづくりを話し合う
  - ・学習のルールを児童生徒とつくり上げることで、主体的な学びとする。

※授業には、テンポや緊張感も必要です。大事なことを伝えるときの『間』や、指示の言葉は繰り返さないこと、さっと取り掛からせるなど、集中を高めるよう工夫しましょう。



#### ★「つぶやきは大切です、しかし…」

つぶやきから学びが深まることがよくあります。しかし、つぶやきの全てに言葉を返していると、授業のルールが失われ、おしゃべりに走る危険性もあります。個々の考えを大切にするためには、学習（発言）のルールが大切です。

### 「遊び」を通してルールの学習を

小学校中学年くらいになると、集団による遊びを好むようになります。一方で、多くのトラブルも起こりやすく、休憩時間が終わる度に、教師に話を聞いてほしくて、時には行列ができるほど…。

実は、この時期こそ、ルールを学ぶ絶好の機会であり、個々の規範意識を育てるうえでも重要な時期です。

○遊びを通して、子どもたちに様々なルールを学ばせましょう。

○話し合いによって解決する学級文化を築きましょう。

子どもたちは話し合いを通して、大人には想像もつかないような素晴らしい解決方法を導き出すことが多くあります。

「サッカーの時、人が前にいたらゆっくり蹴る」「失敗したらドンマイって言おう」

「仲間に入れてと言われたら断らない」「低学年には下から投げる」など

また、ルールの大切さに気付くと同時に、思いやり・優しさ、がまんなど多くのことを学びます。この時期に体得した感性が規範意識につながります。

